

# きもつき119

## 鹿屋市総合防災訓練



平成29年度防火標語

火の用心 ことばを形に 習慣に



管内人口 142,101人 平成29年12月31日(現在)  
男 67,759人 女 74,342人 世帯数 70,031世帯

編集・発行 大隅肝属地区消防組合  
TEL 0994-52-0119  
HP (<http://www.fd-kimotsuki.jp/>)  
「きもつきしょうぼう」入力でクリック



平成30年2月

第92号

# 春の火災予防運動

3月1日から7日まで  
1週間実施



## 全国火災予防運動の始まり

昭和2年3月7日に、丹後西北部を襲ったマグニチュード7.5の「北丹後地震」。

北丹後地震から3年後に、第1回の防火運動が近畿地方で実施されました。京都、大阪、兵庫、滋賀及び奈良の二府三県が参加し、実施要綱を定めて火災予防に関する講習やラジオによる広報を行ったほか、小学校での火災予防講話、さらには消防職員や警察職員による消防演習などが、盛大に行われました。

好評を博したこの防火運動に刺激され、他の地域でも開催されるようになり全国規模に拡大していきましたが、開催日数や期間は各地まちまちで、この運動は全国的に統一して行うべきだとの意見が強まり、全国で足並みをそろえて実施するようになりました。その後、様々な変遷を経て、秋の火災予防運動は平成元年に11月9日から11月15日まで、春の火災予防運動は平成2年に3月1日から3月7日までと定められ今日に至っています。

## 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント ～ 3つの習慣・4つの対策 ～

### 3つの習慣

- **寝たばこ**は、絶対やめる。
- **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- **ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。



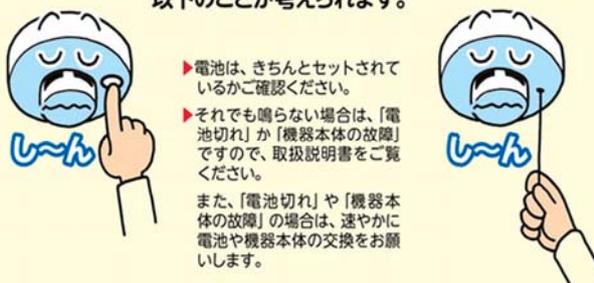
## あなたの家の住宅用火災警報器（住警器）は大丈夫ですか？

### 作動確認のしかた

正常なら以下のように鳴ります。



ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、以下のことが考えられます。



**住宅用火災警報器**は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。

定期的に家族で火災時の警報音を確認してください。

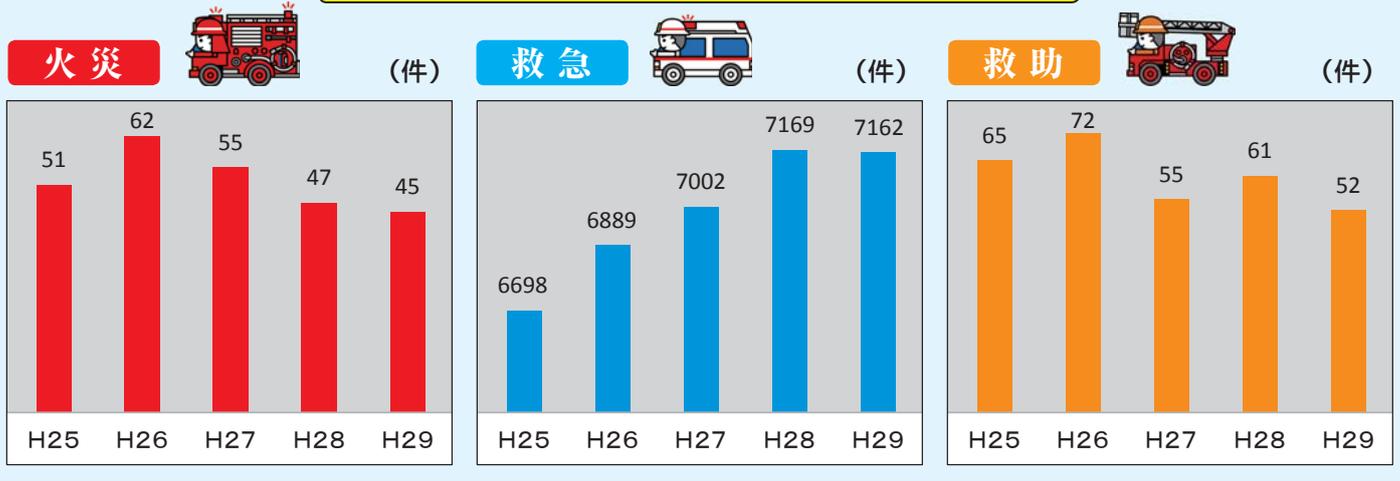
※10年を目安に電池または本体の交換をおすすめします。

### 火災時の対処法

警報音が鳴り、火災を見つけたら次のような対処をしましょう。

- 周りに**大声**で知らせましょう。
- **避難**しましょう。
- **119番通報**しましょう。
- 可能なら**初期消火**を。

管内災害発生状況（過去5年分）



## 本当に救急車が必要ですか？

近年、全国的に救急車の出動件数は急増し現場に到着するまでの平均時間が徐々に遅れてきています。各署の救急車の台数には限りがあり、管轄の救急車が出動している場合には、他署から応援で救急車が出動します。緊急性のない救急要請が増えると、本当に救急車が必要な方への対応が遅れてしまい、**救える命が救えなくなる可能性があります。**尊い命を救うために、**緊急に受診する必要があるか判断していただき、緊急性のない病気や怪我は、自家用車やタクシー等を利用するよう、住民の皆様のご協力をお願いいたします。**

水害や土砂災害などの自然災害が発生したとき、あるいは発生のおそれがあるときに市町村長から発令されるのが「避難指示(緊急)」、「避難勧告」、「避難準備・高齢者等避難開始」です。これらの用語の違いを理解しないと、いざというときに間違った行動をとってしまうかもしれません。自らの身の安全を守るためにしっかりと理解し、発令されたときにはすぐに行動できるように準備しておきましょう。

危険度	避難情報の種類	発令の目安	みなさんがとるべき行動
低	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
危険度	避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合	速やかに避難所へ避難しましょう。外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
高	避難指示(緊急)	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合	避難していない人は緊急に避難所へ避難をしましょう。外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

## 今一度確認を！ もしものために備えましょう。

東日本大震災が発生してからまもなく7年が経とうとしていますが、震災後、非常食や防災グッズを備える家庭も増えたのではないのでしょうか。

ご存知ですか？缶詰の賞味期限は「3年」から「5年」が多いそうです。今一度確認をしてみてもいかがでしょうか。

### ※注意！！

#### ①缶はさびていませんか？

缶がさびている場合、目で確認しにくい小さな穴（ピンホール）が開いている可能性があります。この場合、空気、水分、微生物、菌などが入りこんでいる可能性があります。

#### ②缶が膨張していませんか？

缶内部で腐敗が進むとガスが発生します。それにより缶が膨張します。

缶が膨らんでいる場合は食べるのを控えることをお勧めします。



懐中電灯やラジオなどに電池を入れっぱなしにしていませんか？

電池は液漏れをします。いざという時に使えなくては意味がありません。また、開封していなくても液漏れをしている場合もあります。こちらの方も確認をしてみましょう！！



## 救急功労者表彰

平成29年6月15日、鹿屋市で68歳の男性が心肺停止となり、偶然居合わせた鹿屋市立看護専門学校（かんごせんもんがっこう）の学生3名が協力して119番通報と心肺蘇生法を実施し、救急隊に引き継ぎました。救急車内収容後、心拍が再開し、現在は後遺症もなく社会復帰されています。早期認識、早期通報、一次救命措置などの救命の連鎖が迅速かつ的確に実施され、尊い命をとりとめることができたことに対し、感謝状と記念品を贈呈しました。

なお、3名は本消防組合の普通救命講習を受講されていました。



## 人命救助功労者表彰

平成29年10月29日朝、肝付町前田地区で発生した水害で、消防団員として水門の警戒監視にあっていた宮瀬 貴宏さんと上中 毅さんの2名が、冠水している道路で水没し水門方向へ流され、電柱に衝突して停止した軽乗用車から運転手の男性1名を救出しました。

2名は、再度車両が流される危険があったため水門を閉鎖し、流れを遮断した後、胸まで水に浸かりながら、徐々に水没していく車両のリアガラスを破壊し、運転手を車外に救出したものです。

